

一 般 質 問

平成 27 年第 3 回定例会 (9 月 1 0 日)

質 問 者	内 容	答 弁 を 求 め る 者
小西 啓	<p>有害駆除に関して</p> <p>①町民の方からの猿の出没連絡について</p> <p>②猿、鹿、猪の被害状況について</p> <p>③猿の追い払い隊の結成に関して</p>	町長 農村振興課長
村山 一彦	<p>1. 犬打峠のトンネル化実現後の和束町の</p> <p>①構想はどのように考えているのか。</p> <p>②都市計画法の策定を考えているのか。</p> <p>③国道 1 6 3 号線までの宇治木屋線の道路整備は考えているのか。</p> <p>2. 東南海地震に備えて国は災害対策を強化している。和束町も和束小学校を広域避難所に指定しているが、北側にあたる避難道はあまりにも貧弱で高低差もきつく、非常に危険である早急に改善してもらいたい。</p>	町長 総務課長 町長 建設課長
竹内きみ代	<p>1. 「地域おこし協力隊」事業（総務省）の活用について</p> <p>①これまでの「地域おこし協力隊」先進地での実績状況や事業内容をどのように把握しているか。</p> <p>②本町でも「地域おこし協力隊」事業への取組みに対する考えは。</p> <p>2. 選挙の投票率向上対策等について</p> <p>①投票率向上に向けての取組みは。</p> <p>②選挙権の年齢が 1 8 歳に引き下げられることになった。若者に対していかに政治に関心を持たせるか、今まで以上に重要な課題と考えるが、今後の対応は。</p> <p>③議会の見学や、議会傍聴、子供議会などを小・中学校に取入れるなどの取組みも効果的であり、東部連合教育委員会との協議の検討を。</p>	町長 地域力推進課長 町長 総務課長
藤井 清隆	<p>1. 和束高橋より弥勒磨崖仏までの和束川両岸が手入れのされていない樹木、竹林、雑草などで被われていて大変見苦しく何とか地元や行政がタイアップして整備したいものだと考えるが、それについての考えは。</p>	町長 農村振興課長 地域力推進課長

	<p>2. 地元商店がさびれて和東の中心がいかにも殺風景であるので、今の和東交番所近くに町のメルクマールとなるような、商店、飲食店、催し場、情報拠点等を集め地元の人、来訪者と共に集える場所を第3セクターで作ってはどうか。</p> <p>3. 有害鳥獣対策について</p> <p>① 猿対策について、現在の被害の甚大さを考えればやはり、個体数調整つまり、大規模な檻による捕獲、駆除が望ましいと思われるが如何？</p> <p>②次に農振に専従の獣害対策員2名ほどおくべきと考えるが如何？</p> <p>③さらに対策に力を発揮すると思われるモンキードックや人物などを積極的に登用すべきと考えるが如何？</p>	<p>町長 地域力推進課長</p> <p>町長 農村振興課長</p>
<p>岡本正意</p>	<p>1. 「安保法案」に対する町長の認識と立場を問う</p> <p>① 国会審議を通じて法案の違憲性、立憲主義の否定が明らかになった。また、国民多数が反対し理解も進まない中で法案強行は到底許されないと考えるが町長の認識は？法案反対の立場を鮮明にし意思表示を。</p> <p>2. 公共交通の充実について</p> <p>① コミュニティバス運行への検討はどう進んでいるか</p> <p>② 高校生通学費補助の拡充を。</p> <p>③ バス停留所の改善を。</p> <p>3. 「要支援」者の総合事業への移行について</p> <p>①総合事業への移行を撤回するよう国に要請を。</p> <p>②移行しても現行サービスの継続へ責任を果たせ</p> <p>(1) 「現行担当サービス」を維持しサービス水準の確保を。</p> <p>(2) 利用料値上げは行わないよう検討を。</p> <p>(3) 総合事業実施による要介護認定申請の省略、抑制は行わず、申請権の尊重を。</p> <p>4. シルバー人材センターの早期設立を</p> <p>① センター設立に向けた検討はどう進めているか、早期の設立を求める。</p>	<p>町長</p> <p>町長 総務課長</p> <p>町長 福祉課長</p> <p>町長 福祉課長</p>